

【大野第一区夏祭り】

「夏祭盆踊大会」が、7月28日(午後5時～9時)台風12号が来る前に開催されました。地元商店・企業の協賛を得て開催されるこの祭りは、「区長青柳」図柄のねぶたが特徴で、毎年更新されるねぶたを楽しみに大勢の方が来られます。

ねぶたのA面は青柳オリジナルデザイン、B面は子ども会にテーマを決めて依頼し、応募された子ども達の絵の中から数点選択し、それを基に青柳区長がデザインし、夏休み前に絵付けし、部会メンバーが張付けをします。また、各種夜店は、自治会の協力団体で運営されています。開会前の「柿の浦太鼓」の打演から始まり、ねぶた場内引廻し、盆踊り、お楽しみ抽選会後に終了となりました。スタッフの行いが良いのか、翌日の片付けが終わるまで、台風の雨は辛抱してくれました。

※ねぶたの青柳デザインは8回目、子ども会依頼は6回目だそうです。



部会メンバーによる貼り付け



子ども達と絵付け



子ども達による引廻し



多くのスタッフで食べ物11品を扱う

佐伯・今昔物語

広島県重要文化財・小田家文書(三巻)

「小田家文書」とは、厳島神社領久嶋郷の刀称であった玖島の小田家に伝えられていた農村の土地関係を主とする平安時代から江戸時代(元禄年間)にかけての九十一通からなる古文書です。この文書の最古のものは平安時代の永久三年(一一一五)に奈良原親安が子の右馬次郎に宛てた『親安久嶋郷公文名讓状』で、この頃の家名は「小田」ではなく「奈良原」でした。それから四百三十余年後の天文年中(一五三二～一五四)に奈良原十三代目(推定)の植原信實の時、山縣郡有田城主小田信忠の息子信重を養子としこれより「小田」を名乗ることとなりました。

江戸末期文政年間(一八二〇年代)に芸藩通誌の編纂に関わった広島藩の儒官、津村尚誼により、貴重な資料であることがわかり、三巻の巻物に仕立て保存されました。その後明治三〇年頃に東京帝国大学史料編纂所が調査し、影写という方法で写本を作成されたことにより学術の研究に利用されています。

それからしばらくしてこの文書が小田家の手から離れてしまいました。しかしそんなある時、京都で後に廿日市町長になられた佐伯好郎氏の目に留まり「これは重要なものだ」との思いでその場で入手されました。同氏はこれを愛惜し、三巻を筆写し稿本を作成したのち、玖島の貴重な史料なので、私物化するべきでないとして昭和二十六年小田家から玖島村に寄付され、後に佐伯町に引き継がれ現在に至っています。

なお、この文章は現在玖島の旧小田家の土地であった跡地にある佐伯歴史民俗資料館に一部複写を展示、原本は資料館の耐火金庫に保管されています。

記事協力 くじま歴史研究会



～情報部・課外授業編～

今聞きたい！防災のはなし

豪雨、地震と近年災害が続いています。災害に対する事前の準備や心得、おすすめ防災グッズなど、防災のあれこれを、登録団体「廿日市市防災士会」の方にお話いただきます。

- ◆日 時：11月28日(水) 14:00～
- ◆場 所：2階第1研修室
- ◆講 師：「廿日市市防災士会」代表 砂田 麻佐文さん
- ◆参加費：無料、どなたでも
- ◆詳細は後日お知らせします。



掲載希望の方はセンター受付まで！
次回46号は12月末発行予定です。

～家事家計講習会～

家計の不安をふきとばせ！

- 日 時：11月10日(土) 13:00～15:00
- 場 所：市民活動センター 2階第3研修室
- 参加費：300円
- ※託児あり
- 問合せ：広島友の会 宮島方面 090-6841-8222(石崎)

****お問い合わせ先**** 廿日市市市民活動センター
廿日市市住吉2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>
f <https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

ネットワーク現在の状況

(平成30年9月末現在)

登録団体 **151** 団体

さくら de ファミリー

廿日市市市民活動センター
平成30年秋号
Vol. 45

参加者募集！

詳細は後日お知らせします。
多くの方々の参加をお待ちしています。

12/1(土)

登録団体交流会

パタンク大会を開催します

◆日時：12月1日(土) 9:00～13:30
(交流会含む)

◆場所：廿日市小学校体育館

◆講師：廿日市市スポーツ推進委員

◆申し込み：3名1組、又は1名で申し込み

◆参加費：700円(弁当、飲物代他)

※大会終了後、市民活動センターで表彰式・交流会を行います。

避難訓練・大掃除を行います

当センターでは、8月と12月に消防避難訓練を行っています。12月の消防避難訓練は14日(金)10:00から行います。

当日は訓練終了後、年に1度の大掃除(1時間程度)を行います。昨年はたくさんの方に参加いただき、掃除後は団体間での交流や情報交換で盛り上がっていました。



昨年の様子

提案型連携事業の報告

今年度選考された3事業のうち、2事業が実施されました。来年度も連携事業募集を行う予定です。よりよい活動展開の一助としてご活用ください。

●ふれあいキャンプ

日時：7月21日・22日

場所：極楽寺山憩いの森キャンプ場

主催：青少年育成廿日市市民会議

連携：はつかいちレクリエーション

参加者数：小学生*83名 中高生*16名

全日程好天に恵まれ、昼間はさわやかな風を感じ、夜はとてもきれいな星空をみることができました！



●夏休み子どもボードゲーム教室

日時：7/25・8/1・8・22・29

場所：市民活動センター

主催：いち・に・さん

連携：青少年夢プラン実行委員会

参加者数：延べ人数162名の親子、スタッフは32名
夏休み中、5回にわたって開催したボードゲーム教室では、初対面の皆さんがボードゲームを囲んで自然と楽しい時間を作られていました。子どもたちからは「また遊びたい」という声がたくさん聞かれ、スタッフも刺激を受けたイベントでした。



市民活動に関してなにか相談したいことはありませんか？

市民活動団体や市民の皆さんのニーズに合わせ、さまざまな相談ごとを皆さんと一緒にじっくり考えることができるよう、相談窓口を設置しています。「会計管理を分かりやすくしたい」、「組織体制について相談したい」、「新しい事業の相談にのってほしい」などなど、お気軽にご相談ください！

■ 10月の相談日は11日(木)、25日(木)です。
11月は8日(木)、22日(木)
12月は13日(木)、27日(木)を予定しています。
(毎月第二、第四木曜日に開催しています！)

時間：13時から16時まで

場所：市民活動センター1階交流スペース

アドバイザー：ひろしまNPOセンター 山本 祐二さん

※ 事前の予約が必要です

お申込・お問合せ：センター1階 協働推進課
(32-3810)まで！



福山市まちづくりサポートセンターでも相談対応しています。
駆け込み寺のように、何でもご相談ください！

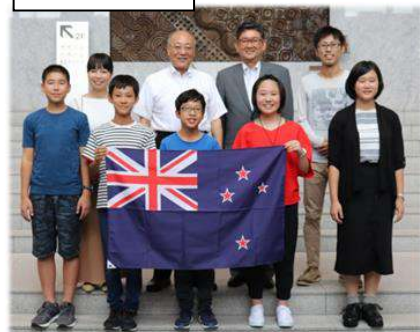


しりあっChaO



姉妹都市 ニュージーランド研修旅行 2018 ～廿日市市国際交流協会～

8月16日
出発



廿日市市役所正面玄関にて出発式

8月17日
ウェリントンからマスタートンへ



移動途中の峠でパチリ

8月18日～22日
マスタートン滞在



市長表敬訪問

2年に一度のニュージーランド研修旅行。
8月16日に出発し、10日間のプログラム
を終え、25日に全員元気に帰国しました。
参加した中学生5人の貴重な体験を報告します。



ホストファミリーとご対面



地元の学校訪問



ハッピーを着て各所でソーラン節を披露



ジューケン ニュージーランド見学



羊の毛刈り工房

8月23日～24日
オークランド観光



参加者の感想

- 初めての海外でしたが、ニュージーランドの人の親切さや優しさ、文化の違い等について学びました。たった10日でしたが、私はニュージーランドが大好きになったし、もっと英語を学ぼうとも思いました。(逞果)
- ホームステイなどを通じて、自分に自信を持つことが大切だと学びました。やりたいことは「やりたい」と言わないと、チャンスを逃してしまうことになってしまいます。でも、それを言うのには、やはり勇気がいりました。それを10日間、行うことによって、自分に自信がついたと思います。(暖大)
- 今まで以上に海外への興味が湧きました。かけがえのない出会いがありました。英語をもっと勉強して世界を見てみたいと思えました。そして、積極的に行動することで世界が広がっていくという事を身をもって学びました。(一花)
- 日常会話がもっとできるように、日々の勉強をがんばり、英検にもチャレンジしていきたいです。もっと英語で自分の思いを伝えられたらいいなと思います。そしてまたホストファミリーと会いたいし、機会があれば、他の国にも行ってみたいです。(拓志)
- この研修旅行で心に残っているのは、やはり、ホストファミリーとの生活です。ホストファミリーの人たち、学校の生徒、そして友達と過ごした時間は楽しかったです。また、ニュージーランドに行きたいです。(つばさ)

「外あそび活動の危険と対策法を学ぼう会」開催

～青少年夢プラン実行委員会～

青少年夢プラン実行委員会「みやうち冒険あそび場の会」では、7月16日に「外あそび活動の危険と対処法を学ぼう会」を開催しました。冒険あそび場やキャンプ活動をはじめとする“交流”や“自然体験”を子どもたちに提供する活動を行うときに知っておきたい危険予知とその対処法について学び、その方法を身に付ける講習会です。講師には福山市で子どもの遊び場・若者の居場所づくりを行っている黒木健太郎さんにお越しいただき、リスクマネジメント・ファーストエイド・応急手当の実習などについてじっくり学びました。

参加者からは「座学と実習でじっくり学べてよかった」「もしケガが発生したとき、あわてず対処できそうだったと思った」などの声があり、子どもたちの活動の現場での安全についてますますの広がりを感じています。みやうち冒険あそび場の会では、今後も子どもたちに「あそび」を通した「まなび」の場を提供していくとともに、様々な形で活動を展開していきます。



足首の固定の実習



ラップを使った包帯止め

みやうち冒険あそび場

自分の責任で自由にあそび！火、水、泥んこ、工作、木のぼり…
やりたいことをやってみよう！さあ、みんなでおいっきりあそぼう！
みやうち冒険あそび場は子どもたちが自由におもいきり遊べるあそび場です。「やってみたい」という気持ちを大切に、いろんなことを「やってみる」場を作るため、様々な人たちが協力して作っています。子どもが自由に遊ぶためには「事故は自分の責任」という考え方が基本です。そうしないと「あぶない！」「～しちゃダメ」といった禁止事項ばかり増え、自由な遊びが奪われてしまいます。みやうち冒険あそび場のモットーは「自分の責任で自由に遊ぶ」ことです。みなさんの協力で自由な遊び場を作りあげていきましょう。

○開催日…10/14(日)、11/25(日)、12/2(日)、1/27(日)
2/24(日)、3/24(日)

○時間…10時くらい～15時くらいまで

○場所…やりだし第三公園(宮内工業団地内)

○いるもの…汚れてもOKな服、動きやすい靴、食べ物・飲みもの、見守る覚悟

○あるといいもの…おこづかい、時間のゆとり

○参加費無料、申し込み不要
雨天決行(荒天中止)

花見山森のあそび場

森の中であそぼう！森を開拓してあそぼう！まるで秘密基地を作るように、自分たちで森にあそび場を作ってあそぼう！ケガと弁当は自分持ち！花見山森のあそび場は、廿日市市内にある「花見山」を舞台にした森のあそび場です。森の中で走り回ったり、いろんな植物や虫を見つけたり、森を切り開いてあそんだりします。のこぎり・鎌・鉋・刈込鋏など、普段は使えないような道具を使って森を切り開いていく遊びが一番人気です。森の中の気持ち良さを知ったり、平らなところがない不整地を歩くことで体幹が鍛えられたり、自然とふれあうことで自然の雄大さや自然に生かされていることを実感するなど、花見山のフィールドでたくさん遊ぶ中でいろんなことを学んでほしいと思っています。

○開催日…10/27(土)、11/10(土)、12/22(土)、1/6(日)
2/16(土)、3/2(土)

○時間…10時くらい～15時くらいまで

○場所…花見山(詳しい場所はFacebookやサイトをご覧ください)

○持ってくるもの…弁当、水筒、軍手、帽子

○あるといいもの…シェアできるおやつ

○服装…動きやすく汚れたり破れたりしても大丈夫な服、歩きやすく汚れてもいい靴

○参加費 1人300円(2歳以上)、申込み不要、小雨決行、雨天中止

○最新の情報はページ「みやうち冒険あそび場」のFacebookやサイトをご覧ください。

夏休み宿題解決工作教室

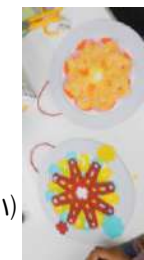


7月27日、運営協議会とネットワーク登録団体が共催で行いました。今回は往復はがきによる募集に変えましたが、定員を超える応募がありました。抽選により50名(廿日市小・佐方小・平良小)の子どもたちが参加し、※「ローズウィンドウ」の子どもたちが参加し、※「紙ひこうき」を作って飛ばし、昼食のカレーを食べて、盛りだくさんの活動となりました。

細かい作業が続きましたが、集中して取り組み、思いがけない模様の出来あがりに喜んでいました。また紙ひこうきを作る作業が駆け足になりましたが、張り切って飛距離を競争していました。

登録団体メンバーは、子どもたちのサポートとカレー作りを行い、交流も図れ充実した内容となりました。

※ローズウィンドウ・・・透かし切り絵のステンドグラス。もともと教会の美しく飾った円形のステンドグラス「薔薇窓」をさす言葉



薄いペーパーに慎重にのり付け



団体メンバーのサポートでひこうき作り